

◆4 - 6 月期 G D P マイナス成長に関する会頭コメント
(2001 年 9 月 7 日)

4 - 6 月期の名目 G D P の伸び率が過去最大のマイナス成長となりましたことを憂慮しております。これは日本の実質的な競争力が低下し、海外に生産拠点がどんどん移っていった結果がこういう形になったものと思います。これを是正するには、長年、改革を先送りにしてきた諸々の国の仕組みを変えていくしかありませんが、この事がさらなる失業率の増加、株価の低下、成長率の悪化を招くことを覚悟しなくてはなりません。今後は、こうした痛みに耐えながら、増加する失業者対策のために、再雇用のための教育に力を入れるなどの救済策を充実し、過去 10 年の繰り返しになること無く、新しい、競争力のある、効率の良い日本を作っていかななくてはならないと思います。

京都商工会議所
会頭 村田純一